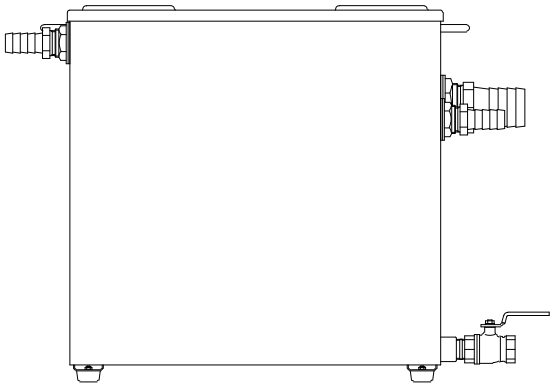
TERADA

取扱説明書

油水分離槽

ＤＳＢ－２５００形



- このたびはテラダ 油水分離槽をご採用いただき誠にありがとうございます。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになられる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- この取扱説明書で扱う範囲は、標準の油水分離槽のみとし、特殊仕様品はそれぞれの取扱説明書もしくは図面によるものとします。
- お読みになられたあとは、いつも手元においてご使用ください。

もくじ

安全上のご注意……1～2
お使いになる前に（各部名称）……2～3
運転のしかた……4
保守・点検……5
修理を依頼する前に……5
製品の記録……6
営業所一覧……7

標準付属品

排水ホース（50A：1m）……1
排油ホース（25A：1m）……1
50Aホースニップル……1
25Aホースニップル……2
50Aホースバンド……1
25Aホースバンド……2
取扱説明書……1

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警 告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注 意　誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

●絵表示について

🛇 禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が示されています。

❗ 行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容が示されています。

⚠ 警 告	
●60℃以上の液、ガソリン・シンナーなどの引火性のある危険物や薬品などの化学薬品は使用しないこと。 火災・爆発や思わぬ事故、故障の原因になります。	●修理技術者以外の人は分解したり、修理や改造をしないこと。 故障や事故の原因となります。
⚠ 注 意	
●不安定な状態で装置の移動や運搬はしないこと。 破損や思わぬ事故の原因になります。	●製品各部の定期点検を実施すること。 故障、事故防止及び精度維持のため必ず実施してください。
●異常がある場合は、直ちに使用を停止し、販売店に連絡すること。 異常が認められた状態で使用つづけると、事故、故障の原因になります。	●排水処理されていて定期点検がしやすい場所に据付を行なうこと。 水漏れが起きた場合に思わぬ事故の原因になります。

お願い・注意

●仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

●液質、液温によりご使用できないことがあります。
多量のスラッジや大きな異物を流入させると詰まりの原因となりますのでご注意ください。

●長期間使用されない場合は、槽内及び配管内の液を抜いてください。故障、詰まり、凍結破損の原因となります。

ご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

お使いになる前に

標準仕様

ご採用いただきました油水分離槽　DSB－2500の標準仕様を下表に示します。

■仕様表

形式	外形寸法 （mm）	処理能力 （L／min）	処理液	液温 （℃）
DSB-2500	500×300×500H	MAX. 43 （2500L／Hr）	水・（洗浄液）・ 水溶性切削液等	0～60 （凍結なきこと）

給水配管口径	排水配管口径	排油配管口径	※槽本体材質	質量 （kg）
25A	50A	25A	SUS304	22

※アルカリ性洗浄液でご使用の場合は、アルカリ性仕様の油水分離槽をご使用ください。
標準品は、バルブ、金具等一部部品がSUS304ではありません。

特　徴

■消耗品がない

フィルターなどの分離するための消耗品を使用しないで分離を行うので、新たな廃棄物を生まないエコ商品です。

■ステンレス製で腐食に強い

油水分離槽本体は、ステンレス（SUS304）製で腐食に強く、屋外でもご使用可能です。
標準仕様のバルブ、排水・排油口金具は黄銅製です。アルカリ性液でご使用の場合は、バルブ金具もステンレス仕様の物に変更してください。

■シンプル構造

比重差で分離するだけのシンプル構造ですので、清掃、分解整備が簡単に行なえます。
また、液面レベル調整も専用ソケットを回すだけで簡単に調整を行っていただけます。

■粗ゴミも除去

粗ゴミを除去するバスケットを設けていますので、定期的にバスケットにたまった粗ゴミを廃棄していただくことで、分離槽本体の清掃が容易になります。

用　途

●排水ピット・集中クーラントタンクの浮上油（浮遊物）の回収。

●工事現場ピット内の浮上油（浮遊物）を含む液の排出。

●各工場、水処理等の循環水、排水の浮上油（浮遊物）の除去。

※放流（排水）の前には、必ず液質の確認を行ってください。

※本装置は油分を比重差により分離しますので、エマルジョン化した液の油水分離は出来ません。

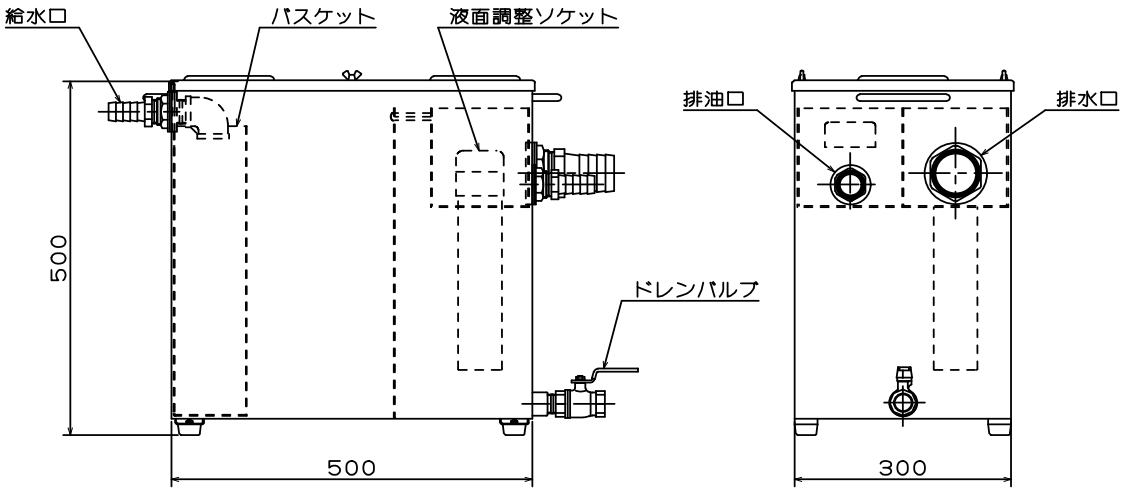
お使いになる前に

荷ほどき点検

商品がお手元に届きましたら、下記の事をお調べください。

（1）ご注文通りの物かご確認ください。
（2）輸送中の傷や破損がないかご確認ください。
（3）付属品が全てそろっているかご確認ください。
（4）万一不具合な点がありましたら、ご購入先に銘板形式・製造番号をお知らせ頂きお問い合わせください。

各部の名称



注意事項

⚠ 警告・注意

（1）装置の移動や運搬の際には、落下、転倒に注意してください。

（2）海水や塩分を含む液では使用しないでください。腐食して故障の危険性があります。

（3）本装置の周囲には保守・点検スペースや配管・作業スペースを確保してください。

設置のしかた

（1） 油水分離槽の設置場所は、排水処理されていて、定期点検がしやすい場所で、処理液槽に近い平らな所に据付けてください。また、耐荷重についても十分ご検討ください。

（2）接続配管は、付属品の各ホースや固定配管等で施工を行ってください。特に排水・排油口に接続する配管は、できるだけ短い配管を接続してください。

給水口にポンプ等から送られてくる液配管を接続します。排水は、処理液槽へ自然に流れ落ちるように戻してください。

運転のしかた（液面レベル調整）

（1）据付、配管が正しく施工されていることを再度確認してください。

（2）上蓋を取り外し、液面調整ソケットを右いっぱいに回し、閉めこんでください。

（3）給水口より処理液を流入させてください。

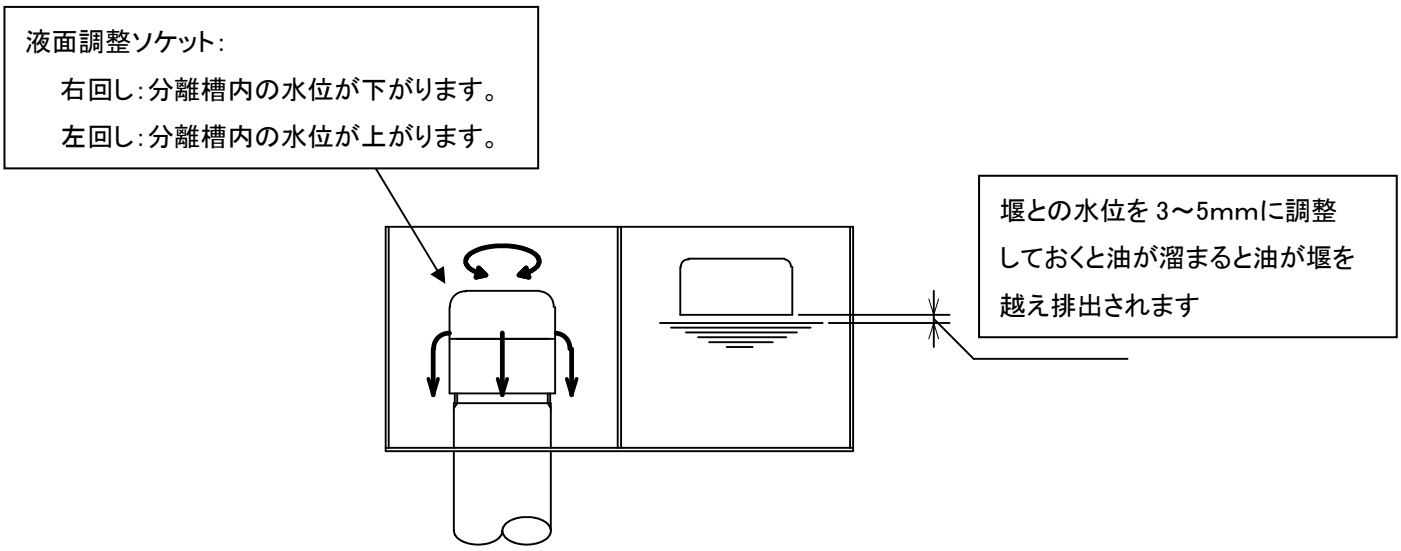
（なるべく運転開始前に分離槽の半分程度、油の混ざっていない処理液を入れておいてください。）

（4）液が分離槽内に入り液面が上がって液面調整ソケットより液が溢れ出てくるのを確認後、閉めこんだ液面調整ソケットを左に回して排油口側の堰（せき）より液面が 3～5mm位低い位置になるよう液面調整ソケットで液面調整してください。

油が溜まれば自然に堰よりオバーフローして排油口から油が排出されます。

分離槽内に溜まった少量の油を強制排出する場合は、液面調整ソケットを左に回し水位を上げて排出してください。

（液面が堰よりかなり低い位置あっても分離槽内に油が溜り排出されないだけで、油水分離は行なうことが出来ます）



（5）液面調整が出来たら上蓋を取り付け、定常運転を行ってください。

（6）運転を停止し、長期運転されない場合は、ドレンバルブを開いて油水分離槽内の液を排出しておいてください。

保守・点検

油水分離槽を末永くご使用いただくために、定期点検を実施してください。

●バスケットや分離槽内に液とともに吸い込んだスラッジ等が溜まると油水分離が正常に行なえなくなります。定期的にバスケットや分離槽の清掃を行なってください。（多量のスラッジを吸込むと詰りや故障の原因になります。）

修理を依頼する前に

⚠ 警告・注意	
●修理技術者以外の人は分解したり、修理や改造をしないこと 異常動作をしてケガをしたり、破損の原因になります。	●異常がある場合は直に運転を停止し、販売店に連絡すること そのまま無理に使用すると、故障、事故の原因になります。

「故障かな？」と思ったら、まず次のことをお調べください。

現　象	原　因	対　策
・油水分離が出来ない	・分離槽内の異物溜り	・異物除去、清掃
	・液面調整部の異物詰まり	
	・排水管内の異物詰まり	
	・液面調整不適正	・適正水位に調整
・液漏れ	・排水、排油口金具のパッキン劣化	・増し締め。（部品交換）
	・溶接部劣化（不具合）	・修理（交換）依頼

それでも具合の悪い時は、すぐにお買い上げの販売店へご連絡ください。

販売店へご連絡する時は、銘板に記載の形式・製造番号、お買い上げ年月日と故障状況をお知らせください。

⚠ 清掃するときの注意

● 手袋、作業服、防護メガネ等を使用して作業を行ってください。清掃中、液等が飛散って汚れたり、ケガする危険性がありますので注意して作業を行ってください。

部品交換（アフターサービス）

● 部品の発注及び修理などのお問い合わせは、形式、製造番号、ご購入日（故障状況）をご確認の上、お買い求めの販売店又は最寄の弊社営業所へお申し付けください。

製品（部品）の廃棄について

● 製品（部品）を廃棄する場合は、分解し、分別して廃棄物処理を行ってください。

■製品の記録

購入年月日	年　　月　　日
購　入　先	
使用開始年月日	年　　月　　日
形　　式	DSB－2500
製造番号	No.
点検 ・ 整備 ・ 修理等	

営業所一覧表

アフターサービスはお買い求めの販売店へ

● 東京支社　〒120－0043　東京都足立区千住宮元町13－13　千住MKビル9F
TEL 03－6625－8558㈹　FAX 03－6625－8557

神奈川営業所　〒252－0134　神奈川県相模原市緑区下九沢2125－1－101
TEL 042－774－3670㈹　FAX 042－774－3671

北関東営業所　〒360－0015　埼玉県熊谷市肥塚2丁目7番28
TEL 048－523－2654㈹　FAX 048－525－5216

仙台営業所　〒984－0011　仙台市若林区六丁の目西町 3-33
TEL 022－287－0231㈹　FAX 022－287－0235

● 名古屋営業所　〒457－0004　愛知県名古屋市南区中江2丁目2番9号
TEL 052－819－0188㈹　FAX 052－819－0180

静岡営業所　〒420－0884　静岡県静岡市葵区大岩本町 26-32　ﾊﾟｰｸｻｲﾄﾞ城北 1F-C
TEL 054－200－1002㈹　FAX 054－200－1003

● 大阪支社　〒540－0011　大阪府大阪市中央区農人橋二丁目 1 番 30 号　谷町八木ビル9F
TEL 06－6940－1177㈹　FAX 06－6940－1178

岡山営業所　〒700－0971　岡山県岡山市北区野田三丁目9－10－2　岡崎事務所 1F東
TEL 086－245－4497㈹　FAX 086－245－7246

高松営業所　〒761－8078　香川県高松市仏生山町甲836番地1ｶﾞｰﾃﾞﾝﾊｲﾂﾋﾟｭｱ 101 号
TEL 087－888－5118㈹　FAX 087－888－5119

● 福岡営業所　〒812－0016　福岡県福岡市博多区上牟田 1 丁目 6 番 15 号ｳｨｽﾀﾘｱ東比恵ベース E-1
TEL 092－411－7555㈹　FAX 092－411－7585

広島営業所　〒731－5136　広島県広島市佐伯区楽々園 3 丁目 5 番 28 号　楽々園Nビル 101 号室
TEL 082－563－7486㈹　FAX 082－563－7487

■ お電話でのお問い合わせ　月～金 9:00～12:00 , 13:00～17:00（土、日、祝日、大型連休を除く）

株式会社 寺田ポンプ製作所
〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町 3 番 17 号
TEL 0745-52-5101㈹ FAX 0745-23-0013
E-mail : info@teradapump.co.jp
http://www.teradapump.co.jp/

2024.11